



Media Information

VPR25-018
2025年5月2日(金)

2025年4月30日

フォルクスワーゲン「Polo」誕生50周年： コンパクトなボディサイズと広々とした室内、世界中で 成功を収めたモデル(日本語訳)

- 「Polo(ポロ)」誕生50周年！ - フォルクスワーゲンは1975年5月初旬に「Polo」を市場に導入して以来、今日に至るまでコンパクトカーセグメントを牽引
- 優れた効率、手頃な価格、革新的なテクノロジー、高い実用性:フォルクスワーゲン「Polo」は、手頃なエントリーモデルでありながら先進的なテクノロジーの民主化を象徴する存在に
- これまでに世界中で累計2,000万台以上を販売

ウォルフスブルク - 「Small on the outside. Big on the inside. (コンパクトなボディサイズと広々とした室内)」。これは50年前、最新モデルとして登場した「Polo」を宣伝するためにフォルクスワーゲンが採用したキャッチコピーです。1975年5月初旬にこのコンパクトカーが市場に登場したとき、この極めてコンパクトな2ドア車が、国内外で50年以上、6世代にわたり、数々の荣誉ある賞を受賞し、累計販売台数が2,000万台を超えるベストセラーとなり、コンパクトカーセグメントの先駆者となるとは誰も予想していませんでした。

Media contact
Volkswagen Communications

Christian Tinney
Product Communications
Spokesperson Polo
Tel. +49 (0) 151 2926 3119
christian.tinney@volkswagen.de

Enrico Beltz
Head of Content & Classic
Communications
Tel. +49 (0) 152 0166 0658
enrico.beltz@volkswagen.de



C00/6220

「Polo」誕生50周年！ - 50年間にわたってフォルクスワーゲンのモデルラインナップに名を連ね、高い人気を維持しているコンパクトカー

「Polo」は手頃なエントリーモデルを象徴する存在。初代「Polo」は、1970年代初頭に市場を席巻した新しいフォルクスワーゲンモデルファミリーの一員としてディーラーで販売が開始されました。



More at
volkswagen-newsroom.com



Media Information

1975年春、角ばったスタイルを特徴とするこのコンパクトカーは、伝説的なフォルクスワーゲン「Beetle(ビートル)」の後継車として、当時まだ新しい技術であった水冷エンジンを搭載した「Passat(パサート)」(1973年)、「Golf(ゴルフ)」(1974年)に続くモデルとして登場しました。その後、「Polo」は6世代にわたって進化を遂げ、その全体的なコンセプト(優れたコストパフォーマンス、高い実用性、コンパクトカー クラスにおける先駆的なテクノロジー、そしてもちろん魅力的なデザイン)により、ベストセラーモデルとして、現在でも高い人気を維持しています。「Polo」は数十年間にわたって、コンパクトカー セグメントの確立に貢献してきました。また、カー オブ ザ イヤー2010、ワールド カー オブ ザ イヤー2010、ワールド アーバン カー2018をはじめ、国内外の自動車メディアから、数多くのアワードを受賞しました。

トレンドセッターであり世代を超えた人気車。1975年にシンプルな2ドア車として登場した「Polo」は、50年以上にわたり、ハッチバック、クーペ、スポーティな「G40」および「GTI」¹、カラフルな「Harlequin(ハーレクイン)、エステート、「Derby(ダービー)」という名称のノッチバック、印象的なオフロード スタイルの「CrossPolo(クロス ポロ)」、効率的な「Polo BlueMotion(ポロ ブルーモーション)、そして2013年から2016年まで世界ラリー選手権で4回の世界タイトルを獲得した非常にダイナミックな「Polo R WRC」など、合計6世代にわたってさまざまなモデルが登場し、ラインナップを拡充させてきました。



Polo (1975)

C75/556

革新的テクノロジーを民主化。「Polo」は各世代において、より広いスペースとより優れた快適性、より効率的なエンジン、革新的な安全機能を提供してきました。フロントおよびサイドエアバッグ、パワーステアリング、シートベルト テンショナー、ABSなどの新機能が導入され、成功を収め続けてきました。次の大きなステップは、モジュラー トランスバース マトリックス(MQB)プラットフォームの採用でした。これにより、コネクティビティ、安全性、ドライビング ダイナミクスの面で新たな基準を確立し、デジタル化と革新的なテクノロジーが進化しました。今日でも、「Polo」には、上位クラスの車両にしか採用されていないアシスタンス システムやコンビニエンス システムが搭載されています。このモデルは、世界中で非常に高い人気を維持し、2025年にもアップデートが施される予定です。その好例が「Polo GTI」です。エレクトロニック スタビリティ コントロール(ESC)(無効に切り替えることが可能)、パフォーマンス タイヤ、新しいサスペンションおよびステアリングのセットアップにより、さらにダイナミックなモデルへと進化を遂げています。



Media Information

世界各地で生産され、世界中で成功。初代「Polo」の生産は、1975年3月にウォルフスブルクのフォルクスワーゲン本社工場で開始され、1981年までに110万台が生産されました。このモデルの重要性が高まるにつれ、生産はスペイン、アルゼンチン、南アフリカ、スロベニア、中国、ブラジル、インドなど世界各地で行われるようになりました。「Polo」は累計2,000万台以上が生産され、世界で最も成功したコンパクトカーの1台となっています。



各世代の概要:

Polo I (第1世代) – 1975年3月にジュネーブで発表された初代「Polo」は、新しいフォルクスワーゲンのテクニカルベースとなり、同時期にアウディから発表された「Audi 50(アウディ50)」と比較すると、シンプルな装備を特徴とする2ドアモデルでした。「Polo」は当初、29kW(40PS)のエンジンを搭載して販売され、優れたコストパフォーマンスと高い実用性で注目を集めました。全長は3.50mで、4人の乗員と荷物を積めるスペースを備えていました。初代モデルの「Polo」は1978年まで、改良モデルは1981年まで生産されました。1977年から1981年にかけて、広いラゲッジコンパートメントを備えたノッチバックバージョンの「Derby」が追加され、合計で110万台以上の車両が生産されました。

Polo II (第2世代) – 1981年9月、フォルクスワーゲンは、ボディを完全に新設計し、全長を3.66mに拡大した第2世代の「Polo」を発表しました。このスクエアの「Polo」は、広々としたスペースを備えた2ドア スモール エステート モデルとして発売されました。わずか1年後には、さらにパワフルなガソリンエンジンを搭載したファストバッククーペが登場しました。1987年には、その当時最もパワフルな85kW(115PS)のエンジンを搭載した、リミテッドエディションの「Polo Coupé GT40(ポロクーペGT40)」が発売されました。1987年には、経済的なバリエーションとして、出力33kW(45PS)を発生する最小のディーゼルエンジンを搭載したモデルもデビューしました。第2世代の「Polo」は合計13年間生産され、270万台以上が販売されました。



Media Information

Polo III (第3世代) - 1994年、ボディ、シャシー、エンジンを刷新し、全面改良された第3世代の「Polo」が登場しました。この世代では、初めて5ドアモデルも登場しました。ボディサイズの拡大によりスペースが改善され、エアバッグ、シートベルト テンショナー、ABSなどの最新の安全システムが導入されました。1995年、最も興味深い「Polo」モデルの1つであり、モジュラー デザインにより4つのカラーを組み合わせることができる「Polo Harlequin」が発売されました。1997年からはエステート モデルも追加されました。1998年には、特別限定モデルとして、92kW(125PS)の「Polo GTI」がデビューし、「Polo」モデルに初めてハイパフォーマンス モデルの証である魔法の3文字、「GTI」のエンブレムが装着されました。第3世代の「Polo」は、合計350万台が生産されました。

Polo IV (第4世代) - 2001年に導入された第4世代の「Polo」は、4つの大きなクリアガラス ヘッドライトを備えた新しいデザインを採用し、ボディサイズは先代モデルよりも全長が15cm、全幅が5cm拡大されました。このモデルは、リアシートを折り畳んだ状態で、1,030リットルのラゲッジスペースを確保していました。新しいエンジンは、3気筒エンジンや「Polo GTI」に搭載されたパワフルなターボチャージャー付きエンジンを含めて、全体的にパワーが強化されました。また、フロントエアバッグ、サイドエアバッグ、パワーステアリング、ABSなどの安全機能が標準装備されていました。2006年には、「Polo GTI」(110kW/150PS)が発売され、さらに、堅牢なオフロード スタイルを特徴とする「CrossPolo」や、「Polo BlueMotion」(CO₂排出量わずか99g/km)も登場しました。第4世代のモデルは合計410万台が生産されました。



Polo V (第5世代) - 2009年3月に世界初公開された第5世代の「Polo」は、全長が約4mと、先代モデルよりも長く、デザインはクリーンなラインを特徴としていました。このモデルには、5種類のエンジンがラインナップされました。その中には、2009年12月に導入された、走行100kmあたり平均わずか3.3リットルのディーゼル燃料しか消費しない「Polo BlueMotion」も含まれていました。スポーティな「Polo GTI」が再びモデル ラインナップに復帰し、162kW(220PS)のTSIエンジンを搭載したスペシャル モデル、「Polo R WRC Street (ポロR WRCストリート)」が初登場しました。「Polo」史上最速のこのモデルは、世界ラリー選手権(WRC)への参戦で得られたモータースポーツの走行フィールを公道にもたらししました。フォルクスワーゲンは、2009年から2017年の間に第5世代の「Polo」を合計630万台販売しました。



Media Information

Polo VI (第6世代) – 2017年に導入された第6世代の「Polo」は、モジュラー トランスバース マトリックス (MQB) プラットフォームをベースにした最初のモデルで、上位クラスのオプション機能を数多く備えていました。これには、シティ エマージェンシー ブレーキ システムと歩行者モニタリングを備えたオートマチック エマージェンシー ブレーキ (フロントアシスト)、ブラインドスポット モニターを備えた車線変更システム、アダプティブ クルーズコントロール (ACC) が含まれています。モジュラーコンセプトにより、全長は81mm長くなり、351リットルのラゲッジコンパートメント容量を実現しました。2021年には全面的に改良され、シャープなボディデザイン、「IQ.LIGHT (アイキュー.ライト)」マトリクスLEDヘッドライトなどの新しいオプション機能、「IQ.DRIVE Travel Assist (アイキュー.ドライブ トラベルアシスト)」などのアシスタンス システムが追加されました。メーターパネルはデジタル化され、最大25cm (対角) のディスプレイのほか、ワイヤレス充電やApp-Connectなど、数多くのデジタル機能が提供されました。2021年の夏には、最高出力152kW (207PS) を発生する、パワフルな2.0リッター ターボチャージャー付きガソリン エンジンを搭載した新型「Polo GTI」が登場しました。2023年には、「Polo GTI」誕生25周年を記念し、専用装備を搭載した特別なリミテッド エディション、「Polo GTI Edition 25」²⁾がデビューしました。第6世代の「Polo」は、これまでに250万台以上が生産されました。

全世代の詳細な情報と画像は、フォルクスワーゲン ニュースルーム ([volkswagen-newsroom.com](https://www.volkswagen-newsroom.com)) の「Polo anniversary」スペシャル ページに掲載されています。

¹⁾ Polo GTI – 複合モードにおける燃料消費量: 6.8 ~ 6.5ℓ/100 km、複合モードにおけるCO₂排出量155 ~ 148g/km、CO₂クラスE

²⁾ Polo GTI Edition 25 – このモデルは現在販売されていません。

The Volkswagen Passenger Cars brand has a worldwide presence and manufactures vehicles at 28 locations in twelve countries. In 2024, Volkswagen delivered about 4.8 million vehicles. These include bestsellers such as the Polo, T-Roc, T-Cross, Golf, Tiguan or Passat as well as the successful all-electric models of the ID. family. Last year, the company handed over around 394,000 all-electric models to customers worldwide. Volkswagen currently has a workforce of approximately 170,000 employees around the globe. With its ACCELERATE strategy, Volkswagen is systematically driving forward its development into the most desirable brand for sustainable mobility.
